

国家戦略特区で動き出す「民泊」、 初の条例施行自治体・大田区の挑戦

大田区

1 地域を起点に世界に発信

私の半生

○恩師 宇都宮徳馬先生の薫陶

世界平和活動に尽力した稀有の政治家の秘書を17年⇒鳥の目

○地域活動・地方政治に徹し抜く

町会長として22年、保護司として30年余⇒虫の目

区議会議員、都議会議員、区長として31年⇒魚の目

○私の政治信条

地域から行動を起こし国際平和に貢献



宇都宮徳馬先生
(出典：「宇都宮徳馬最近の政論集」)

住民が愛着と誇りを持てる地域
は外国人にとっても魅力的なまち
(国際都市)になる

観光

おもてなしの心で地域から魅力発信
歴史・文化・商店街・浴場(温泉)・飲食店

地域力

産業 (ものづくり)

地域に根ざした中小企業が世界に飛躍

多文化共生

対等な立場で
外国人とともに暮らし、
外国人とともに地域づくり

羽田空港の国際化

経済波及効果

異なる文化に対する理解、寛容性

- ・ 外国人利用客の増加
- ・ 空港跡地の有効活用
- ・ 国際化に対応するためのまちづくり
 - ハード面：陸・海・空の交通結節機能強化
 - ソフト面：観光・多文化施策による受入強化

3 大田区における「特区民泊」のポイント

- ✓ 訪日外国人客の増加等を背景に、区内旅館等の客室稼働率が上昇。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人来訪者のさらなる増加が見込まれている。
- ✓ **宿泊施設の不足**が見込まれる中、羽田空港を擁する「国際都市おおた」として、**安全性や衛生面に配慮**した滞在施設を提供する環境を整備し、地域経済の活性化、観光・国際都市の推進につなげる。
- ✓ 旅館業法の特例の実施を定めた「区域計画（平成27年10月20日内閣総理大臣認定）」及び区条例（平成27年12月7日制定）に基づき、**平成28年1月末から申請受付**を行う予定。

- ①滞在施設の不足
- ②旅館業法が想定しない民泊サービスの広がり

近隣住民・利用者の
安全・安心・衛生面の不安

特区の「旅館業法の特例」を
活用し、行政が一定の関与

安全・安心・衛生面に
配慮した滞在施設の確保

国家戦略特区特定事業 《旅館業法の特例》

【現行】

旅館業法第3条関係

原則、宿泊期間が1ヵ月未満の施設では旅館業法が適用される。
(都道府県(保健所設置市又は特別区)については、当該市又は特別区)の運用)
＜旅館業法の適用による主な義務＞
➢ フロントの設置、宿泊者名簿の作成義務
➢ 衛生管理、保健所による立入検査 など

【特例】

国家戦略特別区域法 第13条関係

国家戦略特別区域会議が、国家戦略特区法の特定事業を定めた区域計画について、内閣総理大臣の認定を受けたときは、当該認定の日以後は、国家戦略特区法の特定事業を行うとする者は、その事業について都道府県知事の特定認定を受けることにより、その事業には、旅館業法の規定は適用されない。

法律

国家戦略特区において外国人旅客の滞在に適した施設を賃貸借契約に基づき条例で定めた期間(7日～10日)以上使用させ、滞在に必要な役務を提供する事業として政令で定める要件に該当するもの
(※滞在するのは日本人でも外国人でも構わない)

法施行令 第12条関係

政令

・施設使用期間: 7日から10日までにおいて条例で定める期間以上
・一居室の床面積: 原則25平方メートル以上 等

※国家戦略特区に指定された地域であれば、本事業を区域計画に位置付け、総理認定を受けることにより実施できる。

事業の実施者

国家戦略特区法の特定事業に該当することについて都道府県知事が認定

旅館業法の規定の適用除外

<内閣府ホームページより>

5 「民泊」により想定される課題

近隣住民との トラブル

- 滞在者の騒音、ごみ処理、マナー等の問題
- 苦情・相談窓口が無い・分からない

治安面への 不安

- 犯罪、違法薬物の使用、売春などが行われないか
- 不法滞在者が利用しないか

火災・事故等 への不安

- 火災や水のトラブルなどが発生しないか
- 緊急事態が発生した時に滞在者が対応できるか

「安全・安心面の不安」に対応する「特区民泊」条例を制定

- 国家戦略特別区域法第13条第1項に規定する国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業に関し必要な事項を定める

1. 事業の用に供する施設を使用させる期間

期間は、地域のホテルや旅館との役割分担、主として外国人の1施設における滞在期間等を総合的に考慮して7日以上とする。

2. 立入調査等

区長は、職員に、認定事業者の事務所又は外国人滞在施設に立ち入り、又は関係者に質問させることができることとする。

3. 近隣住民への事業計画の周知

事業者は事前に近隣住民に対し、当該施設が国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業に使用されるものであることについて、適切に周知しなければならないこととする。

⇒ 行政の関与により、課題「安全・安心面の不安」を解消

7 これまでの経緯と実施までのスケジュール

月	内 容	備 考
2015年 9月	・ 東京都都市再生分科会（29日）	大田区より提案
10月	・ 条例案パブリックコメント（13日～26日）	
	・ 東京圏国家戦略特別区域会議（14日）	区域計画作成
	・ 東京圏国家戦略特別区域諮問会議（20日）	区域計画の 内閣総理大臣認定
11月	・ 条例案パブリックコメント公表（16日）	意見数60件
	・ 区議会第4回定例会に条例案提出（26日）	
12月	・ 条例制定（7日）	14日公布
2016年 1月	・ 規則・ガイドライン公表（中下旬）	
	・ 申請受付開始予定（下旬）	条例、規則、 ガイドライン 施行

区内滞在者の増加

- 大田区の魅力を知ってもらうチャンス
- 大田区が観光やビジネスの滞在拠点となる

地域経済の活性化

- 訪日外国人客の区内での消費の増加
- 特区民泊事業による新たなビジネス・雇用の創出

国際都市の推進

- 外国人が区内で滞在しやすい環境の整備
- 外国人との交流の機会が創出

空き家等の利活用

- 空き家、空き部屋等の利活用につながる

●東京23区最大の面積を持つ大田区には様々な特色がある



商店街

文化財
(池上本門寺五重塔)

アミューズメント・エリア(大井競馬場・平和島競艇場等)



大田市場(青果・鮮魚・花卉)



大田区総合体育館



国際線旅客ターミナル

国際線貨物ターミナル



羽田空港跡地第1ゾーンの整備

羽田空港跡地
(第1ゾーン)

ものづくり町工場(高度技術集積地)



●区名の由来

1947年3月15日に、当時の「大森区」と「蒲田区」が合併

●面積: 60.66 km² 23区で最大

●人口: 712,057人

※2016年1月1日現在

山・川・海・島・畑もある人口71万人都市<日本の縮図>
うち外国籍住民2万人(119か国)

外国人が安心して暮らせる地域づくり 「多文化共生施策の推進」

■ 大田区多文化共生推進プラン(2010年3月策定)

将来像

～地域の中で わかりあい とともに生きる～
多文化が地域に活力を生み出す「国際都市おおた」

- 基本目標1** 外国人と日本人が地域生活において、対等な立場でよりよい関係を築けるように多文化共生意識を広げます。
- 基本目標2** 外国人が地域の中で安心して暮らせるまちをつくります。
- 基本目標3** 外国人も地域の主人公の一人として「国際都市おおた」のまちづくりに主体的に参画する仕組みをつくります。



■ 大田区多文化共生推進センター(micsおおた)

大田区の多文化共生推進の拠点として
2010年9月にオープン！

主な業務内容

- ◆多言語外国人生活相談
- ◆通訳 ◆翻訳
- ◆日本語教室
- ◆情報提供
- ◆交流コーナー など



【多文化共生推進センター】

■ 大田区多文化共生推進協議会

大田区多文化共生推進プランに基づき、大田区の多文化共生社会の実現に向けて、外国籍区民を含む区民の意見を区政に反映するため、区が多文化共生施策に対し討議・提言。

【概要】

- 委員数 13名
- 任期 2年〔現在、第3期(2015～2016年度)〕
- 構成
外国籍区民、日本国籍区民、
国際交流団体、国際交流ボランティア、自治・町会関係者、学識経験者
(会長：山脇啓造氏)等



【協議会の様子】

11 外国人が訪問・回遊しやすい態勢づくり

2011年から蒲田が京都などと並び観光庁から「訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る戦略拠点」に指定。ウェルカムショップ153店、まちかど観光案内所287所

1 多言語版大田区公式観光サイトの開設（2015年12月1日～）

外国人旅行者が訪れたくなる区内の観光スポットやイベント情報等を、日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、タイ語の6言語で紹介



2 公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備（2015年12月1日～）

JR蒲田、大森、京急蒲田駅前周辺や、本庁舎をはじめ区の主要施設15か所に、無料の公衆無線LANを整備



OTA CITY FREE Wi-Fi
エリシアサイン

3 大田区観光情報センターのオープン（2015年12月11日～）

多言語対応による観光相談や、日本文化の体験講座など、訪日旅行者のニーズに対応したサービスを提供する観光情報センターをオープン



基本理念（コンセプト）

「国際競争力の強化」と「地方創生」に寄与する。

世界と地域をつなぐ「HANEDA」において、「新産業創造・発信拠点」を形成し、イノベーションを生み出す。

計画対象地



整備イメージ



スケジュール

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
建物 建築	事業手法 検討	事業者 公募	設計・施工			概成

取組み内容①

国内外から企業・人材・情報を呼び込み、「投資」や「技術革新」を誘導

産業交流施設

中小企業の集積や羽田空港に近接する大田区の立地特性を活かし、ビジネスがしやすい環境整備を進めることでイノベーションを創出する。

起業・創業

「集まる」

- ・ 起業・ベンチャー
- ・ 中小企業・大手企業
- ・ ベンチャーキャピタル
- ・ 大学・研究機関
- ・ 公設支援機関

「交わる」

- ・ コワーキングスペース
- ・ 交流スペース・会議室
- ・ 研究開発ラボ・オフィス
- ・ 大学・研究室向けラボ
- ・ コーディネーター

「創る」

- ・ プロトタイプセンター
- ・ 受発注マッチング
- ・ 協創プロジェクト

支援・成長

投資呼び込み

発展・成功

◆大田区の地域資源イメージ



心臓外科手術訓練装置

先端産業開発プロジェクト



下町ボブスレー



研究開発



へら絞り加工

金属加工



精密部品

取組み内容②

「JAPANブランドのショールーム」を形成し、地方創生に寄与

おもてなしエントランス

羽田空港に近接する大田区の立地特性を活かし、日本の選りすぐりの産品や食材、製品を集め、訪日外国人やビジネス客などの来訪者に、「食」や「技」など日本の暮らしに根差した魅力を発信する。

**食や物産など
「JAPANブランド」を発信**

国内各地から「旬」の農林水産物、日本が誇る「ホンモノ」等を集め、日本文化の魅力を発信。

**ファッションやアニメなど
「クールジャパン」を発信**

海外で人気の高い日本のファッションや、アニメなどのコンテンツを「クールジャパン」として発信。

**観光情報の集積を通じて
地方誘客を促進**

国内各地の地域情報の集積や、交通結節機能を強化し、地方誘客を促進。

◆イメージ



マルシェ



蒲田切子



「The Wonder 500」



観光センター



※国土交通省資料 (2015年 4月現在) を一部加工

就航都市・旅客数

- 就航都市数 国内：49都市 海外：28都市
- 年間旅客数 7,421万人 (1日あたり約20万人)
(2014年) (内訳：国内6,265万人、国際1,155万人)

※管内空港の利用概況集計表から抜粋

航空需要

- 世界の空港別旅客数ランキング 4位 (2014年)
 - 発着枠 44.7万回/年間
- ※訪日外国人旅行者数
- 1,036万人 (2013年)
 - 1,341万人 (2014年)
 - 1,973万人 (2015年、推計値)

16 日本の玄関口として、海外のお客様を最良のおもてなしでお出迎え

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とした取り組み

オリンピック種目の開催地

- ◆都立大井ふ頭中央海浜公園でホッケーを開催
- ◆海の森水上競技場でボート・カヌーを開催



感動
夢

大会会場・海外選手の 事前キャンプ誘致

- ◆ソフトボール競技会場を大田スタジアムに誘致
- ◆至便なスポーツ・宿泊環境の提供と交流の実現



国際
都市

都市機能と
魅力の向上

まち
づくり

国際都市おおたの 観光施策

- ◆大田区観光情報センター（京急蒲田駅）を開設
- ◆訪日外国人受入環境整備（Wi-Fi、観光サイト、多言語サイン）
- ◆商店街による文化交流・多言語おもてなし事業

多文化
共生

都市機能とまちの 魅力の向上

- ◆エリアマネジメントの活用“おもてなしストリート”
- ◆ブルートライアングルプロジェクト
- ◆水質浄化・無電柱化
- ◆羽田空港跡地整備
- ◆舟運事業

まちのにぎわい・魅力創出

○ブルートライアングルプロジェクト

おもてなしのシンボルとして、アオスジアゲハが舞う環境を整備し、来訪者の拠点を創出。



アオスジアゲハは豪州名で「ブルートライアングル」と呼ばれ、黒い羽根に青いラインが特徴である。

まちの美化・回遊性の向上

○呑川水質浄化対策

長年の懸案である悪臭・白濁等を解決するため、水質浄化対策を行い、快適な水辺環境を創出。

○天空橋船着場を活用した舟運事業

船着場を活用し、空港周辺から浅草等観光スポットにつながるアクセスを向上させていく。

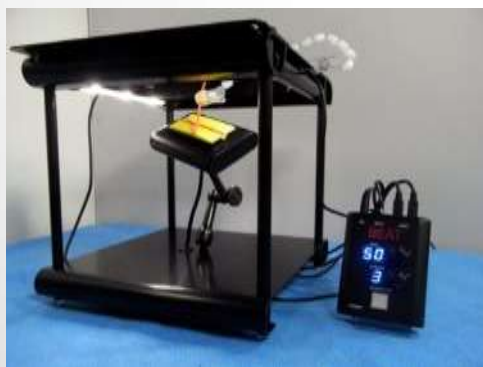




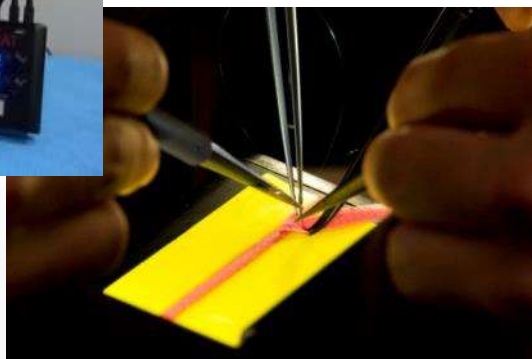
(株)北嶋絞製作所 (人工衛星機器部品・航空機部品)
“特殊金属のへら絞り加工 パラボラアンテナからH-IIロケットまで”



小松ばね工業(株)(医療機器、電子機器等)
“コイル形状が肉眼で見えない微細な「ばね」”など
年間3,000種類以上を製造



模擬血管「YOUCAN」



イービーエム(株)

(心臓血管縫合手術訓練機「BEAT」)

“世界の医学界が注目”



全国初！多くの機械加工技術を体感できるイベント“おおたオープンファクトリー”

商店街、銭湯、料理



東京一の商店街数



天然温泉もある東京一の銭湯数



大田市場



とんかつ



羽根付き餃子



日本料理



のり

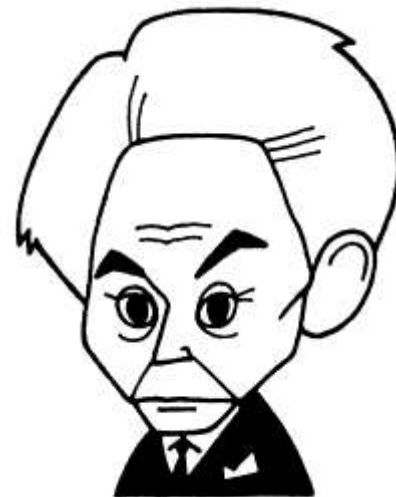
あらゆる食材・料理でおもてなし



川瀬巴水画「馬込の月」



大森駅前文士村レリーフ



川端康成



龍子記念館



大田区立郷土博物館



馬込文士村展示コーナー



熊谷恒子記念館

大正末期から昭和初期にかけ、現在の大田区馬込周辺に多くの作家や芸術家が居住したことから、のちに「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。





近現代の日本の転換期

○第一の転換期：明治維新

封建社会を脱して近代国家を建設

○第二の転換期：第二次世界大戦後の復興期

戦争の反省に立って平和国家を建設

○第三の転換期：グローバル社会の到来

市民間交流を通じ国際平和・共生社会を創造



国際都市おおたフェスティバル in 羽田